



2022年

12月

中国四国農政局
徳島県拠点

「令和4年度徳島県農業青年のつどい」が開催されました

令和4年11月21日に徳島県農業青年クラブ連絡協議会（徳島県4Hクラブ）と徳島県が共催し、徳島県立農林水産総合技術支援センター農業大学校にて、県内の農業青年者と農業大学校生が互いに意見を交換することで、学生の就農への意識を促し、青年農業者は自らの農業を通じた活動への意識を高めることを目的として、令和4年度徳島県農業青年のつどいが開催されました。

つどいには、青年農業者約15名、農業大学校生約60名、徳島県職員約15名、農政局徳島県拠点職員4名が参加しました。



徳島県4Hクラブの佐野会長の挨拶



グループ討議の様子



討議内容の発表の様子

グループ討議では、農業大学校生に対し青年農業者と話してみたい内容について事前アンケートを行い、青年農業者と農業大学校生からなるグループに分かれ、「農業分野で不安に思うことについて～農業青年と一緒に解消しよう～」のテーマのもと、仕事としての農業などについて活発な討議が行われました。

農業大学校生が経営面などの農業における不安や疑問点を挙げ、青年農業者が回答をするという流れで行われました。特に農業大学校生は青年農業者の経験談をととても熱心に聞いている様子でした。

令和4年度「鳥獣被害防止に向けた集中捕獲キャンペーン」について

農林水産省と環境省は、農作物への被害が大きいシカとイノシシについて、「鳥獣被害防止に向けた集中捕獲キャンペーン」を全国的に実施し、捕獲の強化を図ります。

1.趣旨

鳥獣被害のうち、シカとイノシシによる農作物への被害が深刻な状況となっている中で、平成25年に農林水産省と環境省が共同で取りまとめた「抜本的な鳥獣捕獲強化対策」において、シカとイノシシの個体数を令和5年までに半減させる目標を策定しました。

これを踏まえ、農林水産省と環境省は、令和2年度及び令和3年度に、狩猟期（主に11月～翌3月）を中心として全国的にシカとイノシシの捕獲強化を行う「集中捕獲キャンペーン」を実施しました。その結果、令和2年度には全国で135万頭（過去最高）、令和3年度には125万頭を捕獲しました。

こうした中で、シカとイノシシの個体数は共に減少傾向にある一方、シカについては減少のペースが鈍く、更なる捕獲強化が必要な状況にあることから、本年度も引き続き「集中捕獲キャンペーン」を実施し、シカを中心とした全国的な捕獲強化を図ります。

2.令和4年度のキャンペーンの概要

各都道府県においては、令和3年度のシカとイノシシの捕獲頭数や被害状況などを踏まえ、捕獲頭数目標を令和3年度の実績と比較して約18万頭増の143万頭に設定しました。令和4年度の「集中捕獲キャンペーン」においても、農林水産省は目標頭数の達成に向け、捕獲活動経費を支援し、環境省と共に啓発活動にも注力してまいります。

詳しくはこちらをご覧ください（農林水産省HP）

<http://www.maff.go.jp/j/press/nousin/tyozyu/221115.html>



11月から始動。毎月3～7日は「さかなの日」。 さかなを食べよう！

我が国の水産物の消費量が長期的に減少している中、水産物の消費拡大を官民協働で推進するため、水産庁は「さかな×サステナ」をコンセプトに、毎月3日から7日までを「さかなの日」に制定しました。

「さかなの日」の概要

水産庁は、毎月3日から7日までを「さかなの日」とするとともに、特に11月3日から7日までを「いいさかなの日」として賛同メンバーによる水産物の消費拡大に向けた活動の強化週間に位置付けました。

「さかなの日」に賛同いただいた企業等は、賛同メンバーとして「さかなの日」に水産物の消費拡大に係る取組を実施していくこととしています。

詳しくはこちらをご覧ください（農林水産省HP）

<https://www.jfa.maff.go.jp/j/press/kakou/221028.html>



◎「News Letter」は、原則奇数月に発行しています。

編集：中国四国農政局 徳島県拠点

〒770-0943 徳島市中昭和町2丁目32

TEL (088)622-6133(内線403) FAX(088)655-9136 <農政局HP> <https://www.maff.go.jp/chushi/>

◆ニュースレターに関するアンケートにご協力ください。 <https://www.contactus.maff.go.jp/j/chushi/form/nl180401.html>